



前橋市自立支援協議会広報

みんなのらいふ 第11号

発行日 平成28年5月15日

題字：中村 瑞穂 様（ゆずりは）

発行元：前橋市自立支援協議会

お問い合わせ先：

前橋市障害福祉課 前橋市自立支援協議会

広報啓発部会 事務局

電話027-220-5714 Fax027-223-8856

ホームページ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/42/125/139/p002057.html>

## みんなのアーツ（作品紹介）



【題名】おばけ

【作者】佐藤 航さん

### 題字・作品募集

本誌に掲載する題字や作品（イラスト、挿絵等）を募集しています。あなたの作品で本誌に彩をそえていただけませんか。詳しくは事務局（連絡先は表紙に記載しております）へお気軽にお問い合わせください。

# 平成27年度 前橋市自立支援協議会の活動報告

前橋市自立支援協議会では、年間を通じて各種会議を開催し、障害福祉における地域課題の解決に向けて活動しています。今回は、平成27年4月から平成28年3月までの活動について、部会活動を中心にご報告します。

## 1. 子ども部会



今年度は日常生活における課題の中から「移動」に関することをテーマとして情報の共有や意見交換を行いました。また、昨年度に引き続き、学齢期の子ども達を支えるための「顔の見えるネットワークづくり」を目的に昨年12月11日に「前橋市療育ネットワーク推進会議研修会」を開催し、学校教諭や放課後児童クラブ職員、障害福祉サービス事業所職員など107名が参加して、福祉サービスや実践事例の情報を共有とともに、意見交換会を実施しました。

## 2. 就労支援部会



障害者雇用に関する情報交換の機会を設けることで障害者雇用の促進を図ることを目的として、10月21日に「企業と福祉の情報交換会」を開催しました。当日は、企業と就労移行支援事業所あわせて22事業所に参加いただき、一般就労に至った成功事例の発表や、障害者雇用に対する不安、体験談、企業が求める人材などについての意見交換を行いました。

## 3. 生活支援部会

障害者団体や民生委員児童委員の代表者、相談支援事業所、社会福祉協議会など、幅広いメンバーを部会員として活動しました。本年度は前橋市社会福祉協議会と協働して、モデル地区を設置するとともにモデルケースを選定し、地域共助の仕組みづくりについて協議を行いました。

## 4. 広報啓発部会

広報啓発部会では、広報誌「みんなのらいふ」の定期発行を行いました。紙面には障害のある方にも登場していただき、くらしに役立つ情報や本協議会の情報をみなさまへお届けすることを目指しました。また、1月31日に第4回「みんなのフェスタ」を開催しました。今回は「サムライローズin埼玉」をゲストに迎え、障害者サークル（和太鼓演奏、合唱、八木節）や保育園児によるステージ発表と作品展示が行われ、大いに盛り上がる内容となりました。



## 5. 手話施策検討部会

12月7日に制定された前橋市手話言語条例第8条の規定に基づき、手話に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための方針を策定するため、1月から手話施策検討部会が発足しました。施策の推進に当たっては、当事者団体や群馬県など関係機関との連携を図ります。

# 平成28年度前橋市自立支援協議会について



《組織図》

## 全体会 (年2～3回)

委託相談支援事業所、サービス事業所、医療、教育、就労など

## 運営調整会議 (毎月1回)

自立支援協議会の会長、委託相談支援事業所、市障害福祉課により協議会全体の運営状況を確認し、方向性を検討します。

## 個別支援会議 (奇数月開催)

委託相談支援事業所や保健所などが集まり、相談事例の検討を行い、前橋市としての課題を分析します。

## 特定課題会議（専門部会） (毎月または隔月開催)

自立支援協議会の委員や障害福祉課により、前橋市における各分野の課題について整理し解決策を検討します。

### 就労支援部会

企業に対する障害者雇用のための情報提供や、障害者に向けて就労意欲が向上するための活動を行います。

### 地域移行定着部会

施設や長期入院から、地域で暮らすために必要なシステム作りについて検討します。

### 療育ネットワーク推進会議

(前橋市障害児等療育支援事業)

### こども部会

障害児に関する各機関が、情報共有し、チームとして支援できる体制強化に取り組みます。

### 生活支援部会

障害者の日常生活上の課題について、検討します。

### 広報啓発部会

本協議会の広報紙の発行を行います。また啓発イベント開催について取り組みます。

### 手話施策検討部会

前橋市手話施策推進方針策定後の取り組みについて検討します。

## ワーキンググループ (随時開催)

部会で整理した課題について、具体的な解決策を専門的に検討します。

## 配色には全て意味がある。(ユニバーサルデザインの紹介)

街でよく見かける工事現場の看板、非常口のマーク、交通標識など、これらはいつ誰が見ても分かりやすいような配色の工夫がされています。

### 道路工事のサインが黄色と黒の理由



黄色は最も誘目性の高い色です。誘目色とは意識していなくても自然に見てしまう色の事です。また黄色は最も明度の高い色で黒は逆に明度が最も低い色なのでコントラストが激しく最も目立つやすいという理由があります。工事現場以外にも道路の分離帯や危険を知らせる場合に多く用いられています。

### 非常口のサインはなぜ緑?



ある色の反対の色を補色といい、反対の色との組み合わせは色の違いがありはつきり見えます。火事になった場合は炎の色は赤、そして赤の反対の色は緑という理由で非常口が目立つ様に設計されています。白がなぜ使われているかというと、緑と白は視認性という見えやすい色の組み合わせでもあるからです。

## これなあ～に?



答えは・・・

「ソックスエイド」

股関節などに可動域制限のある方や股関節が痛い方、座った状態で前にかがめない方が靴下を履くのはなかなか大変な動作だと思います。これは、紐を引っ張ればスムーズに履ける自助具となっています。

使い方は、靴下を「ソックスエイド」の本体にかぶせ、底に足を入れて紐を引っ張り本体を引き抜けば履くことができます。

日常生活の中で「一人では難しくてできないな」と思っている動作がこのような自助具を使うことで、活動の幅が広がりそうですね。この「ソックスエイド」は手作りでも作成ができるそうです。



## 編集後記

みなさん、ゴールデンウイークは楽しく過ごしましたか?立夏を迎える、日中は少し汗ばむほどの季節になりました。本号は、前橋市自立支援協議会のそれぞれの部会の活動を紹介しました。私たち広報啓発部会では、本年度も皆様に役立つ情報

をお届けするために、障害福祉事業所や相談支援事業所などから選出されたメンバーが定期的に意見を出し合ながら、本誌を発行していきます。次号も盛りだくさんの情報をお届けしたいと思います。ぜひご覧ください。